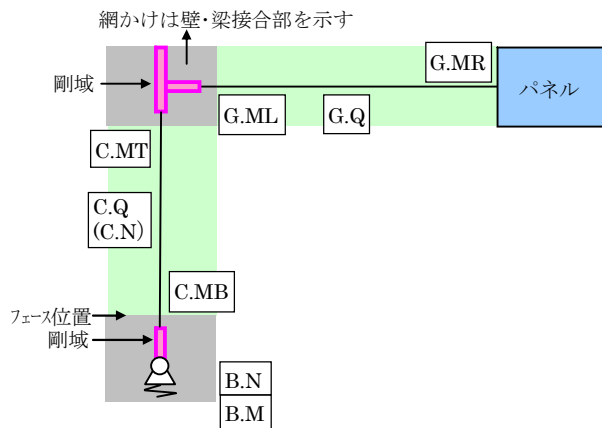


§9.4. 地震荷重時応力図

凡例

- G.ML (kNm) : 壁梁左端フェース位置曲げモーメント
- G.MR (kNm) : 壁梁右端フェース位置曲げモーメント
- G.Q (kN) : 壁梁せん断力
- C.MT (kNm) : 耐力壁頭フェース位置曲げモーメント
- C.MB (kNm) : 耐力壁脚フェース位置曲げモーメント
- C.Q (kN) : 耐力壁せん断力
- C.N (kN) : 耐力壁軸力
- B.N (kN) : 支点鉛直反力
- B.M (kNm) : 支点回転反力



中間階 (水平変位は剛床条件)

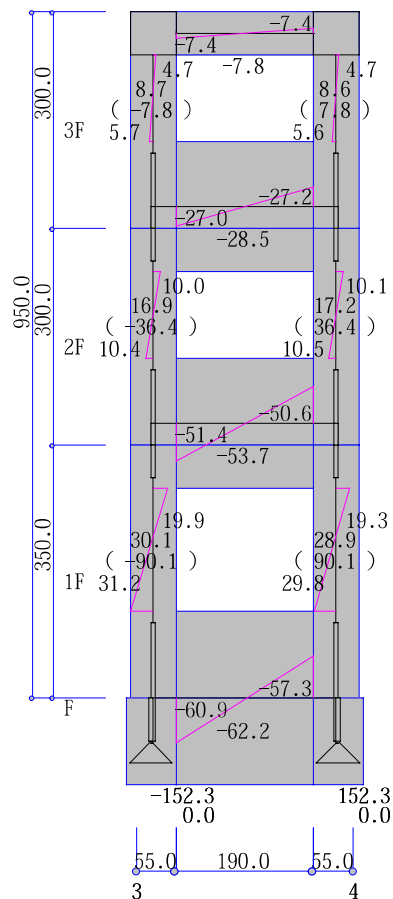
- ① : ローラ支持 (鉛直固定、回転自由)
- ② : 鉛直バネ支持 (鉛直バネ、回転自由)
- ③ : 回転バネ支持 (鉛直固定、回転バネ)
- ④ : 回転バネと鉛直バネ支持 (鉛直バネ、回転バネ)

最下階 (水平変位は剛床条件で剛床回転拘束)

- ⑤ : ピン支持 (鉛直固定、回転自由)
- ⑥ : 鉛直バネ支持 (鉛直バネ、回転自由)
- ⑦ : 回転バネ支持 (鉛直固定、回転バネ)
- ⑧ : 回転バネと鉛直バネ支持 (鉛直バネ、回転バネ)
- ⑨ : 固定支持 (鉛直固定、回転固定)
- ⑩ : 鉛直バネ支持 (鉛直バネ、回転固定)
- ⑪ : 回転バネ支持 (鉛直固定、回転バネ)
- ⑫ : 回転バネと鉛直バネ支持 (鉛直バネ、回転バネ)

注) 耐力壁脚が境界梁に接続する時はピン支持となります。これに地盤バネを入力指定すると上記⑥⑦⑧の記号が付きます。

境界梁の接続しない独立 (連層) 壁は固定条件となります。これに地盤バネを入力指定すると上記の⑩⑪⑫の記号が付きます。



Aa通り 地震荷重時応力図(X加力) スケール:1/100

